



# 日野稲門会

## がわら版

2023年1月15日発行

第5号

日野稲門会事務局

日野本町 5-13-2

宮本方 ☎080-3205-0583

編集責任者 五十嵐耕一

<https://www.hinotomonkai>

### 会長あいさつ

日野稲門会会長 京極英二 (昭46・政経)

あけましておめでとうございます。

穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年6月には3年振りに日野稲門会総会を対面で開催出来ました。また同好会はテニスに加え、ハイキング、源氏、健康麻雀、男の料理、カラオケ、ゴルフ、早慶戦応援、バードウォッチング、史跡巡り、荒ぶる会と順次再開されました。

今年は後記掲載の通り2月12日(日)に新春懇談会を3年振りに開催いたします。新型コロナはまだまだ注意が必要ですが、感染予防対策を徹底いたします。皆さまの積極的なご参加をお願い申し上げます。

### イベント予告

### 令和5年 映画上映会・新春懇談会

昨年はコロナの為中止のやむなきに至りましたが、令和5年の上映会・新春懇談会を下記のとおり開催いたします。皆さま方大勢のご参加をお待ちしています。

★日時：2月12日(日) 10:30~12:50 上映会  
13:30~16:30 新春懇談会

★場所：多摩平交流センター 集会室5

上映会「母と暮らせば」 吉永小百合 主演 (2015.12 公開作品)

申込方法など詳細は別紙チラシを参照ください 担当：杉本 武彦

### 2023年の主な行事予定

#### 総会の開催について

1. 日時：令和5年6月11日(日) 午前11時~

2. 場所：ホテルエミシア東京立川

3. 総会態様：総会、講演会および懇親会

詳細はあらためて連絡します

開催日	行事名	場所
2月12日(日)	上映会・新春懇談会	多摩平交流センター
4月15日(土)	多摩川・浅川クリーン作戦(第14回)	浅川一番橋付近
6月11日(日)	総会(第44回)	ホテルエミシア東京立川
6月18日(日)	コスモスアベニュー事業(第26回)	浅川スポーツ公園
10月7日(土)	秋の収穫祭(第25回)	実践女子大グランド横農地
10月22日(日)	2023稲門祭/ホームカミングデー	早稲田大学キャンパス
10月or11月	美術作品展(第3回)	ひの煉瓦ホール展示室
11月中旬	東京三多摩支部大会(第21回)	未定

行事は、新型コロナウイルス感染拡大状況その他の事情により変更する場合があります

13ある同好会の予定は、新しい日野稲門会ホームページの「同好会一覧」からそれぞれ選択して確認できます

<https://new.hinotomonkai.org/>

#### contents

- ・ イベント案内…………… 1
- ・ 新役員紹介…………… 2
- ・ 皆さんからのメッセージ…………… 3~4
- ・ 編集後記…………… 4

## 新役員の紹介

昨年（2022年）10月1日、新たに4名の方が役員に就任されましたので、ご紹介します。

（50音順、敬称略）



### 秋田 叔彦（昭52・法学）

＜所属同好会＞

現時点ではありません。  
先日、ハイキング同好会に参加させて頂きました。野鳥観察・男の料理にも参加したいと思っています。久しぶりにマージャンも良いかなと思います。



＜コメント＞

会社勤めを卒業して四年が経過し、仕事オンリーの生活から親の介護生活を経験し、つい先日から自分の時間が持てるようになりました。今まで仕事最優先で、地元のこと是一切手を出さずに過ごしてきましたので、これからは地域の活動などに携わって地元への貢献が少しでも出来たらと考えています。

日野稲門会の活動・自治会活動・日野市健康課の健康推進員・清掃ボランティア等、徐々に活動領域が増えつつあります。人付き合いが得意なわけではありませんが、今まで持てなかった仕事に関係のない新たな人間関係の構築の場でもあり、楽しみながらそれぞれの役割を果たしていきたいと思っています。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### 川名 達也（昭55・法学）

＜日野稲門会での活動＞

日野稲門会はまだ入会3年目ですが、今回幹事の一人に加えさせて頂きました。まだ無任所の立場ではありますが、出来る範囲でお手伝いさせて頂こうと思っています。また同好会への参加も追々検討していこうと思っています。



＜近況＞

現在、娘が立ち上げた農場で週4日午前中のみですがボランティアとして農作業に従事して

おり、その合間を縫ってサッカー、ゴルフ、登山、キャンプといったアウトドアスポーツを趣味として楽しんでおります。これらを通して衰えつつある体力の維持になんとか努めている次第ですが、すべてその活動の後のお酒を正当化するためのものではないかという批判も家族内にあることはここに付記させていただきます。

### 庄山 幸司（昭57・理工・機械）

＜所属同好会＞

・荒ぶる会 ・健康麻雀

＜コメント＞

2019年に日野稲門会に入会し、秋の収穫祭3回（孫も3回連続参加です）、荒ぶる会早明戦2回、健康麻雀1回参加させて頂いています。大先輩の中で未だなかなか入りこめておりませんが、新幹事として色々やっていきたいと思っています。ご指導のほどよろしくお願いします。趣味は、続いていることがあまりないのですが、バイクをずーっと所有はしております。時々思い立って近場を走っている程度ですが、次の春には時間を作って少し遠くまで行きたいと思案中です。



### 山本 明（昭53・理工院・機械）

＜所属同好会＞

健康麻雀

＜コメント＞

2018年に退職して来年2月で5年になります。退職直後から学習塾で講師を勤め、小学校2年生から高校3年生までの子供たちと接してきました。そのようなときに、日野稲門会からお声がけいただき、2年前に入会しました。同時に健康麻雀同好会にも参加させて頂き、稲門の諸先輩方とお付き合いさせて頂いております。



この度幹事に就任させて頂きましたが、会での活動につきましてもゴルフや史跡巡り等活動の幅を広げていきたいと思っています。これから宜しくお願いします。

## 皆さんの投稿

### 私の家は研究所

石川 宏（昭42・工研修・通信）

私は電気通信技術がバックグラウンドですが、趣味で日野市の自宅で気象観測を行い、その結果をホームページにリアルタイムで表示をしています。

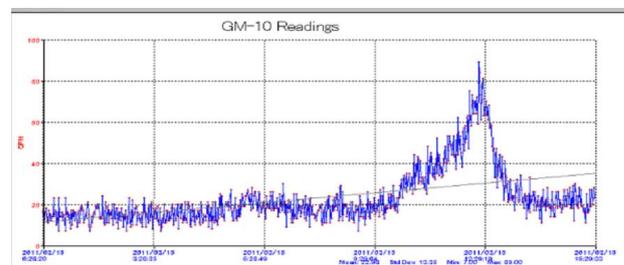
日野市は、環境はいいのですが、都心と違って大変寒い。寒いのはちょっと苦手なので、「太陽熱利用型住宅」という、太陽の熱を変換せずに熱のまま家の中に取り込む、暖かい家を20年前に造りました。住んでみると大変快適で、ランニングコストは経済的、思いどおりの家になりました。一体どのくらいのエネルギーが天から降ってくるのか、家の外の温度と内側の温度とどのくらい差があるのかということを知りたくなり、いろいろセンサーを自作しました。気圧計や湿度計、風速計、風向計などそろえて、パソコンで自動計測ができるようになり、气象台のようになりました。

17年前に隣国が核実験をし、放射性物質が日本にも飛来するのではないかという騒ぎがあり、それならば自分で計測しようと、センサーの一つにガイガーカウンタもつけ加えました。計測の結果はすべてリアルタイムにホームページに表示されます。ホームページの名前を「ナチュラル研究所」といいます。ただし所員は1名、私が所長兼研究者であります。

そして2011年3月11日に東日本大地震が発生。図は2011年3月15日の放射線量の計測結果のグラフです。それまで自然放射線量のみで安定していたグラフが、昼前から急に立ち上がり、異常値を示しました。あとから分かったのですが、3月12日頃から福島第一原子力発電所は、ベントを開けたとか、水素爆発があったとか、建屋が飛んだ、メルトダウンしたなどいろんな事が起きていたようです。そのため、14日、15日、に相当の量の放射性物質が大気中に飛散し日野にも飛来しました。

この瞬間をリアルタイムに計測して、ホームページで見ることができたのは、日本で（世界

で）私のサイトだけだったらしいのです。2チャンネルやFacebookなど口コミで紹介され瞬く間に広がり、とにかくモータリにアクセスが来ました。3月11日の地震発生以前は、1日に10回程度のアクセスだったのが、3月15日に一気に増え、1日に6万件を越え、その値はNHKのニュースサイトを超えました。これは、見えない放射線の恐ろしさに対し、公的な情報がなかったために、私のサイトに頼ったのではないかと思います。各報道機関、BBCやブルンバークなど外国メディア、地元の市議などたくさんの取材がありました。BBCのインタビューでは「3月16日時点で、日本で放射線量を公開しているのはあなたのところしかない」と言っていました。



図：日野に放射性物質が飛来したときの観測  
(2011年3月15日 15:29:54のデータ)

福島原発事故独立検証委員会(いわゆる民間事故調)の調査・検証報告書に、当方の活動が紹介されました。リスクコミュニケーションの記述のなかで、「政府あるいは東京電力は人々がとめる情報発信をしてこなかった。そのなかで都内への放射性物質飛来を観測していたナチュラル研究所のサイトには多数のアクセスがあり有用であった」と図入りで紹介しています。災害時の情報公開について、しっかり考えないといけないのではないかと思います。適切な情報を飾らず生のまま、リアルタイムで出す、修正する暇もなくどんどん出す、ということが肝心ではないでしょうか。隠す、小出しは信頼を損ね、かえって不安を増大させます。受け手の国民も、他人任せで、お国がけしからんと言っているだけではなく、怪しげな情報に惑わされることなく、自分で工夫して質の高い情報を得る、ということが大事ではないかと思います。

現在も、私のホームページでは、日野市のさまざまな最新の気象情報を、また本当に気候変動はおきているのか、情報発信を続けていま

す。「ナチュラル研究所」で検索してみてください。

私がインターネットに関わったのは、1992年ごろ日本に初めてインターネットを導入するお手伝いをしたころからで、その時からすべての利用者が情報発信することができる、というインターネットの可能性に注目しておりました。当会のホームページは2007年に提案し開設、15年間担当しておりましたが、この度、後任の五十嵐耕一さんに引き継ぐことになりました。

皆様から提供された原稿、写真をもとに、わかりやすく最新の情報を提供するよう工夫・努力してまいりました。おかげさまで会員、校友会から一定のご評価をいただいていると自負いたしております。ご協力をいただいた皆様方にあらためて感謝申し上げます。

## 社交ダンスとハイキング

大澤 俊弘 (昭42・政経)

定年退職後62歳の時に誘われて社交ダンスを習いました。わずか1年後には誘って頂いた方とペアを組みアマチュア競技大会に出場しました。早稲田・立教組のペア誕生でした。短期間だったのでサークルの皆さんをびっくりさせたようです。今はその時のダンス仲間と時々健康ダンスをしています。その縁で当時の小笠原会長から社交ダンスの先生として山内元会長をご紹介します。



もう一つハイキングがあり、参加回数はまだ少ないですが、日野稲門会の皆様に大変お世話になっております。体力低下に不安を感じておりますが...

自分自身の生活キーワードをご紹介します。

- ①スローガン：「健康で、明るく、楽しく、元気よく」
- ②信条：情熱と理性 色のイメージ：情熱は「赤」、理性は「青」  
アクセル「赤」とブレーキ「青」のコントロールを心掛けています。
- ③理念：いつも真剣な探検者であれ、決して単

なる訪問者に止まらぬように！大学卒業式の日  
に久保田明光教授から頂いた言葉をいつも大事  
にしています。

今年も会員の皆様とご一緒に活動できることを楽しみにしています。

## 「誕生日プレゼントはおでん」

佐藤 和吉 (昭51・教育)

予想通り負けてしまったラグビーの早明戦。  
OBとして歯がゆく寂しい思いにかられながら、  
原稿を執筆中。

さて先日、今はそれぞれ一児の父親である双子の息子の誕生日に、おでんを作って届けた。「親父のおでん食べたいな」とリクエスト



され、二日前から下ごしらえに取り掛かる。まずは大根。米の研ぎ汁で下茹で。火が通ったら、利尻産昆布を鍋の底に敷いて、出汁でコトコト煮る。火を止めて味を沁ませて、また煮る。繰り返していくと、あめ色に。他の具は、小さい孫も食べるので、餅やかたいものは避ける。人気ははんぺんに揚げボール、つみれに卵。密閉容器に入れて、配達。ウーバーイーツならぬ「じーじイーツ」。「すごいですね。おでん屋さん開けますね」とお世辞と分かっている。嫁に褒められるのは嬉しいものだ。そもそもは、食べざかりの一女二男の為に、料理本片手に作り始めたのがきっかけ。箸を握りしめ「ひとり何個ずつ？」と決戦に臨み、大きな鍋はあっという間に底が見え、私と家内は残り物を頂くパターン。その後、飲み屋の主におでんを教わり、工夫に工夫を重ね、今に至る。飲んべえにはおでん屋は不向きだが、密かに「おでん屋には負けない」と自負している。

発行：早稲田大学校友会 日野稲門会

編集長：五十嵐 耕一（会報担当）

編集委員：京極 英二、宮本 誠二、上田 實、  
杉本 武彦、松島 修

日野稲門会広報担当のメール

[hinotomonkai.kouhou@gmail.com](mailto:hinotomonkai.kouhou@gmail.com)